



プレスリリース

## フィデリティ投信、ファンクラブ会員を対象に 「フィデリティ 資産運用塾」を1月に開校

- 投資家との直接的なコミュニケーションを一層促進 -

2011年12月14日、東京 - フィデリティ投信株式会社(東京都港区)はこの度、フィデリティ・ファンのための会員組織「Club Fidelity」(クラブ・フィデリティ)のメンバーを対象に、「フィデリティ 資産運用塾」を開校します。

### 「クラブ・フィデリティ」会員に限定した新たなコミュニケーションの場

本年6月にスタートしたフィデリティとファンの皆様との絆を強める活動は順調に進展しており、「クラブ・フィデリティ」の現在の会員数は、当社による会員向けセミナー(ファンドマネージャー講演等)への参加などを通じて既に1,400名以上に、また公式Facebookのメンバーは約5,300人<sup>\*1</sup>になりました。

これを機に2012年1月より新しい試みとして、クラブ・フィデリティの会員を対象とした資産運用を基礎から学べる「フィデリティ 資産運用塾」を開校します。第1期(2012年1月~3月、全3回コース)のテーマは、「50代のための資産運用20年プロジェクト」で、公的年金の受給開始年齢の引き上げなど、退職前後の環境が大きく変わりつつある50代の方々が、どのように退職に向けて自身の資金を準備したらよいか、実践的な内容を学ぶことができます。

### 【フィデリティ 資産運用塾 第1期(全3回コース)】

- テーマ 50代のための資産運用20年プロジェクト、  
受講定員 130名(受講料は無料、申し込み多数の場合は抽選)  
会場 トラストシティ カンファレンス・丸の内 (千代田区丸の内1-8-1)
- 第1回 2012年1月31日(火)/ 18:45~20:15  
「50代のための資産運用20年プロジェクト」  
野尻哲史 (フィデリティ退職・投資教育研究所所長)
  - 第2回 2012年2月16日(木)/ 18:45~20:15  
「これだけは知っておきたい! 50代のための資産運用の基礎」  
菊地雅恵 (フィデリティ投信 商品マーケティング部マネージャー)
  - 第3回 2012年3月13日(火)/ 18:45~20:15  
「やってみよう! 50代からでも始められる資産運用」  
太田創 (フィデリティ投信 商品マーケティング部長)

[ご参考]

## 投資家との直接的なコミュニケーションを強化するべく、フィデリティ投信はソーシャルメディアを積極的に活用します

### 当社の企業フェイスブックのファン数が、開設以来、5千人を突破

当社は今年6月に公式企業ページフェイスブック(Facebook)を開設し、以来、セミナーの開催告知、マーケット情報から投資啓蒙に至るまで、資産運用に関する幅広い情報を提供してきました。この度、当社フェイスブックの公式ページへアクセスした方のうち、“いいね！”をクリックした人が累計で5,000人<sup>1</sup>を超えました。

日本におけるフェイスブックユーザー数は現在約524万人で、今年1月の181万人から2.8倍に拡大しました。これは、アジア諸国の中で最も早い増加ペースですが<sup>2</sup>、金融機関によるソーシャルメディアの利用が出遅れる中、フィデリティは今後の強固なマーケティングインフラの一つとして、早期よりソーシャルメディアの活用を積極的に推進しています。

(1) 出所：“フェイスブックナビ”のホームページにて検証。2011年12月14日15時時点

(2) 出所：Socialbakers (2011年12月現在)

\*\*\*\*\*

### フィデリティ投信について

フィデリティ投信株式会社は投資信託及び企業年金や機関投資家向け運用商品やサービスを提供しています。1969年に外資系運用会社として初めて本邦に拠点を設け、日本企業の調査を開始。1990年より日本の年金向け運用業務に参入、1995年に証券投資信託委託業務免許を取得し、同年12月に最初の国内投資信託を設定しました。公募投資信託の資産残高は約1.6兆円(2011年10月末現在)、外資系運用会社では首位の位置にあります。

フィデリティ投信はFILリミテッドの傘下にあります。FILリミテッド傘下の資産運用サービスを提供する企業は「フィデリティ・ワールドワイド・インベストメント」と総称されます。フィデリティ・ワールドワイド・インベストメントは、資産運用業界におけるグローバル・リーダーとして、英国、欧州、中近東及びアジア太平洋地域の個人投資家や機関投資家に向け、資産運用サービスを提供しています。1969年に設立、現在は世界24カ国でビジネスを展開、従業員は5,000名を超え、預かり及び運用資産は約20兆円にのびます。ファンド等の延べ受益者数は700万を超え、740本を超える株式、債券、不動産、アセット・アロケーション型のファンドの運用を行なっています。運用を担当するファンド・マネージャーは、世界12カ国で調査を行なう、業界でも最大級の調査チームによる調査情報へのアクセスがあります。フィデリティ・ワールドワイド・インベストメントは、独立系の運用会社で、非公開企業です。(1米ドル=77.080円で計算、データ2011年9月30日現在)

フィデリティ投信株式会社 (金融商品取引業者) 登録番号: 関東財務局長(金商)第388号

加入協会: 社団法人投資信託協会及び社団法人日本証券投資顧問業協会

「当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企

業の株式等の売買を推奨するものではありません。当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。投資信託のお申し込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はお客様自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入しておりません。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。投資信託は、国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては目論見書や契約締結前交付書面を良くご覧下さい。ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 申込時に直接ご負担いただく費用： 申込手数料 上限 3.675% (消費税等相当額抜き 3.5%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用： 信託財産留保金 上限 1%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用： 信託報酬 上限 年率 2.0265% (消費税等相当額抜き 1.93%)

その他費用： 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。目論見書、契約締結前交付書面等でご確認ください。なお、間接的にご負担頂く(ファンドが払う)費用の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ご注意) 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、フィデリティ投信が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しておりますが、当資料作成以降において変更となる場合があります。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に良く目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。